



機械受注統計調査報告

Machinery Orders

令和 3 年 1 月 実績

January 2021



令和 3 年 3 月

March 2021

内閣府経済社会総合研究所

景気統計部

Department of Business Statistics
Economic and Social Research Institute
Cabinet Office, Government of Japan

目 次

2021（令和3）年1月の機械受注動向	
（1）需要者別受注動向（季節調整値）	1
（2）民需の業種別受注動向（季節調整値）	1
（3）販売額、受注残高、手持月数（季節調整値）	1
〈参考1〉 需要者別の機械受注動向（原数値）	6
〈参考2〉 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）	6
統 計 表	8

（ 調 査 の 概 要 ）

本調査は、機械等製造業者の受注した設備用機械類について、毎月の受注実績を調査したものであり、調査対象は主要機械等製造業者、調査時点は毎月末日である。

1987（昭和62）年4月実績より、調査対象社数を202社（うち機械製造業者178社）から308社（同280社）に増加させるとともに、調査内容を拡充した280社ベースの調査に移行した。

2011（平成23）年4月調査より、日本標準産業分類の改定（2007（平成19）年11月）に準拠して、需要者（業種）分類を変更した。表章については、2016（平成28）年1月調査より、従来の移行期表章分類から変更後の調査票分類へと移行した（巻末の対照表を参照）。

（ 使 用 上 の 注 意 ）

- 1989（平成元）年4月調査の実績額から、すべて消費税を除くベースで調査している。
- 本調査は、毎年1月調査の時点で季節調整系列の改訂を行っている。季節調整方法は、X-12-ARIMAの中のX-11を使用している。ただし、主要系列（受注総額、民需、民需（船舶・電力を除く）、製造業、非製造業、非製造業（船舶・電力を除く）、官公需、外需、代理店）については、RegARIMAを利用した季節調整を検討し、適用している（詳細は巻末を参照）。
- 統計表の増加率は比較される二つの計数の増（減）分を前期（前年同期）の計数で機械的に除したものである。
- 「携帯電話」については2005（平成17）年度より調査を行ってきたため、2004（平成16）年度以前については、「携帯電話」を除いた系列を計算することはできない。このため、2011年4月調査以降、本調査は2005年度開始となる。
- 業種分類及び機種分類の定義は、本調査HPを参照。
https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/menu_juchu.html
- 2017（平成29）年6月調査より、機種分類の表章を一部変更した（「電子計算機」と「半導体製造装置」を統合し、「電子計算機等」とした）。

2021（令和3）年1月の機械受注動向

(1) 需要者別受注動向（季節調整値） [第1表及び第1・2図参照]

最近の機械受注の動向を前月比で見ると、受注総額は、12月10.5%増の後、2021年1月は1.7%減となった。

需要者別にみると、民需は、12月7.7%増の後、1月は4.9%減となった。このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、12月5.3%増の後、1月は4.5%減となった。内訳をみると製造業が4.2%減、非製造業（船舶・電力を除く）が8.9%減であった。

一方、官公需は、12月15.6%増の後、1月は「その他官公需」、地方公務で増加したものの、防衛省、運輸業等で減少したことから、27.9%減となった。

また、外需は、12月3.1%増の後、1月は鉄道車両、原動機で減少したものの、船舶、産業機械等で増加したことから、6.4%増となった。

なお、最終需要者が不明である代理店経由の受注は、12月3.4%増の後、1月は電子・通信機械、原動機等で減少したものの、道路車両、産業機械等で増加したことから、4.7%増となった。

(2) 民需の業種別受注動向（季節調整値） [第2表参照]

製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、12月10.3%増の後、1月は4.2%減となった。

1月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは17業種中、非鉄金属（188.3%増）、鉄鋼業（49.6%増）等の11業種で、「その他輸送用機械」（29.7%減）、化学工業（23.4%減）等の6業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、12月8.6%増の後、1月は8.6%減となった。

1月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは12業種中、農林漁業（19.3%増）、卸売業・小売業（11.5%増）の2業種で、電力業（38.7%減）、不動産業（36.4%減）等の10業種は減少となった。

(3) 販売額、受注残高、手持月数（季節調整値） [第3図参照]

1月の販売額は2兆698億円（前月比7.1%減）で、前3か月平均販売額は2兆1,513億円（同1.1%減）となり、受注残高は28兆416億円（同0.1%増）となった。この結果、手持月数は13.0か月となり、前月差で0.2か月増加した。

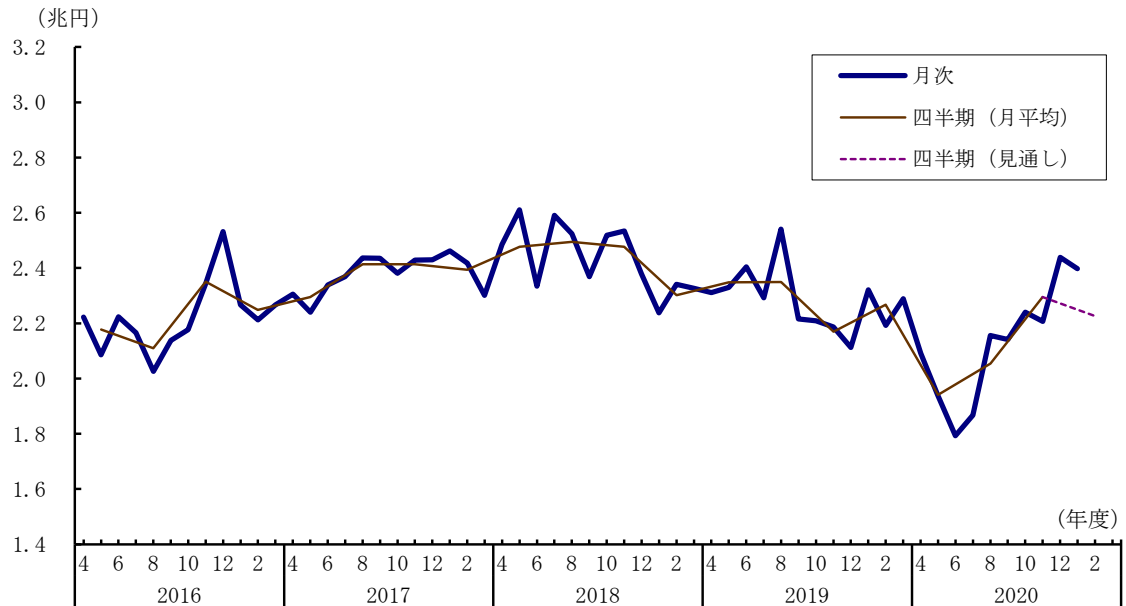
第1表 主要需要者別機械受注額

(単位：億円，%)

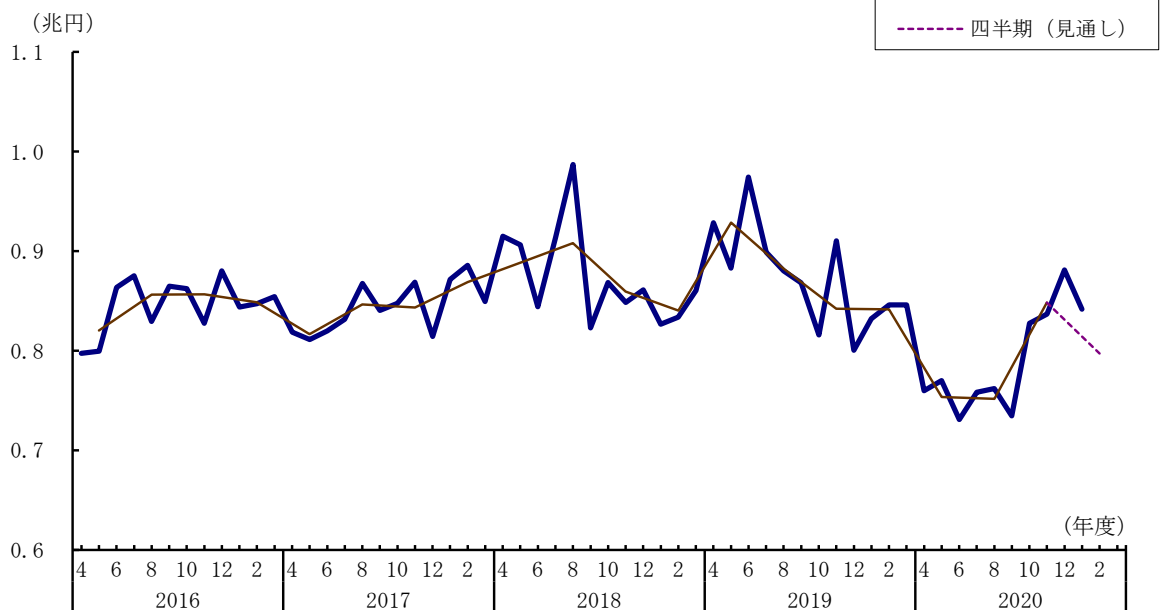
需要者	期・月								
	2020年 (令和2年)				2020年 (令和2年)			2021年 (令和3年)	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	10月	11月	12月	1月	
受注総額	68,014 (4.5) [-0.7]	58,223 (-14.4) [-17.7]	61,641 (5.9) [-11.6]	68,851 (11.7) [6.4]	22,404 (4.6) [-0.6]	22,063 (-1.5) [-0.2]	24,384 (10.5) [18.6]	23,974 (-1.7) [-0.8]	
民需	30,020 (-4.4) [-3.2]	27,217 (-9.3) [-15.5]	27,748 (2.0) [-14.9]	29,446 (6.1) [-4.5]	9,599 (2.1) [-3.3]	9,557 (-0.4) [-16.7]	10,290 (7.7) [5.8]	9,791 (-4.9) [-4.9]	
〃 (船舶・電力を除く)	25,240 (-0.1) [-1.0]	22,606 (-10.4) [-19.1]	22,546 (-0.3) [-14.1]	25,451 (12.9) [1.2]	8,274 (12.6) [2.8]	8,368 (1.1) [-11.3]	8,809 (5.3) [11.8]	8,417 (-4.5) [1.5]	
製造業	10,696 (0.4) [-3.4]	9,315 (-12.9) [-19.9]	9,605 (3.1) [-15.0]	10,703 (11.4) [0.8]	3,487 (7.7) [1.1]	3,432 (-1.6) [-3.1]	3,785 (10.3) [3.9]	3,624 (-4.2) [1.1]	
非製造業 (船舶・電力を除く)	14,493 (-2.9) [0.6]	13,257 (-8.5) [-18.4]	12,963 (-2.2) [-13.4]	14,972 (15.5) [1.4]	4,801 (12.6) [4.3]	4,963 (3.4) [-17.1]	5,208 (4.9) [18.1]	4,744 (-8.9) [1.7]	
官公需	8,974 (21.2) [45.0]	9,130 (1.7) [8.9]	8,156 (-10.7) [6.6]	8,306 (1.8) [14.6]	2,622 (-15.7) [-4.5]	2,637 (0.6) [-2.1]	3,048 (15.6) [51.5]	2,198 (-27.9) [-40.1]	
外需	25,566 (8.8) [-8.7]	18,913 (-26.0) [-28.4]	23,304 (23.2) [-12.3]	27,889 (19.7) [19.6]	8,916 (13.0) [4.1]	9,341 (4.8) [25.4]	9,633 (3.1) [29.6]	10,251 (6.4) [15.5]	
代理店	3,478 (0.7) [-4.1]	3,025 (-13.0) [-19.6]	3,084 (2.0) [-15.4]	3,186 (3.3) [-7.1]	1,059 (1.2) [-6.5]	1,046 (-1.3) [-12.2]	1,081 (3.4) [-2.4]	1,133 (4.7) [-8.7]	

- (備考) 1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

第1図 機械受注総額



第2図 民需（船舶・電力を除く）



(備考)

1. 四半期 (月平均) は季節調整済みの月平均値を期央月の位置に表示(例えば7～9月の月平均値は8月の位置に表示)。
2. 「2021年1～3月 (見通し)」の計数は、「見通し調査 (2020年12月末時点)」の季節調整値を3で割った数値。
3. 2021年1月調査 (同年3月15日公表) において、季節調整系列の遡及改訂を行ったため、それに伴い「2021年1～3月見通し」 (同年2月17日公表) も改訂されている。

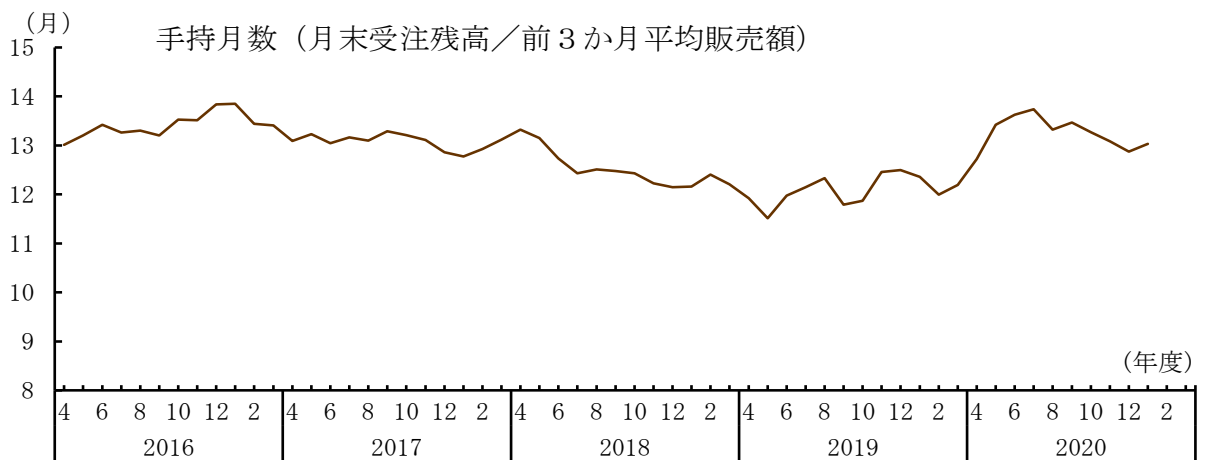
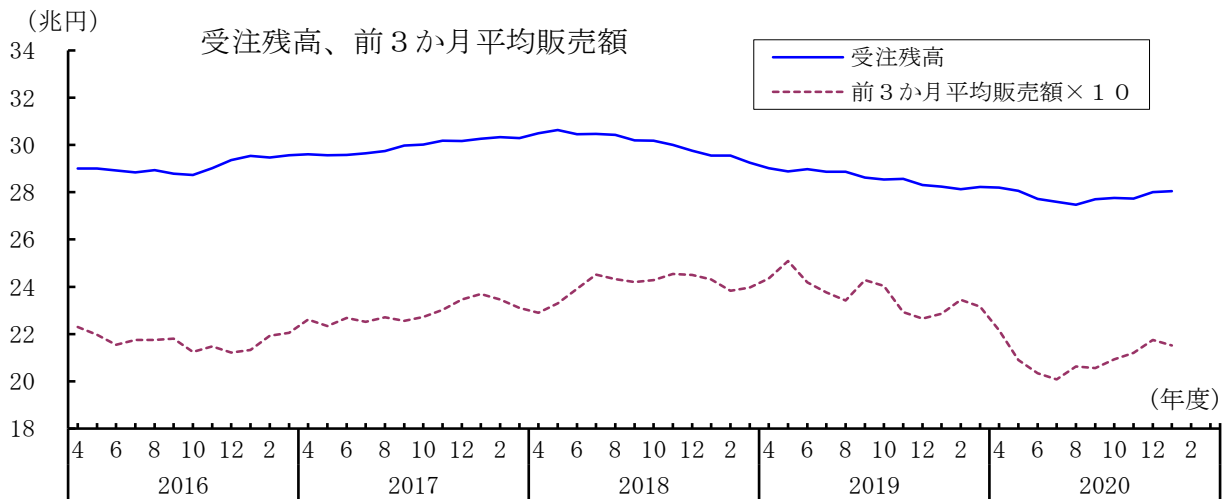
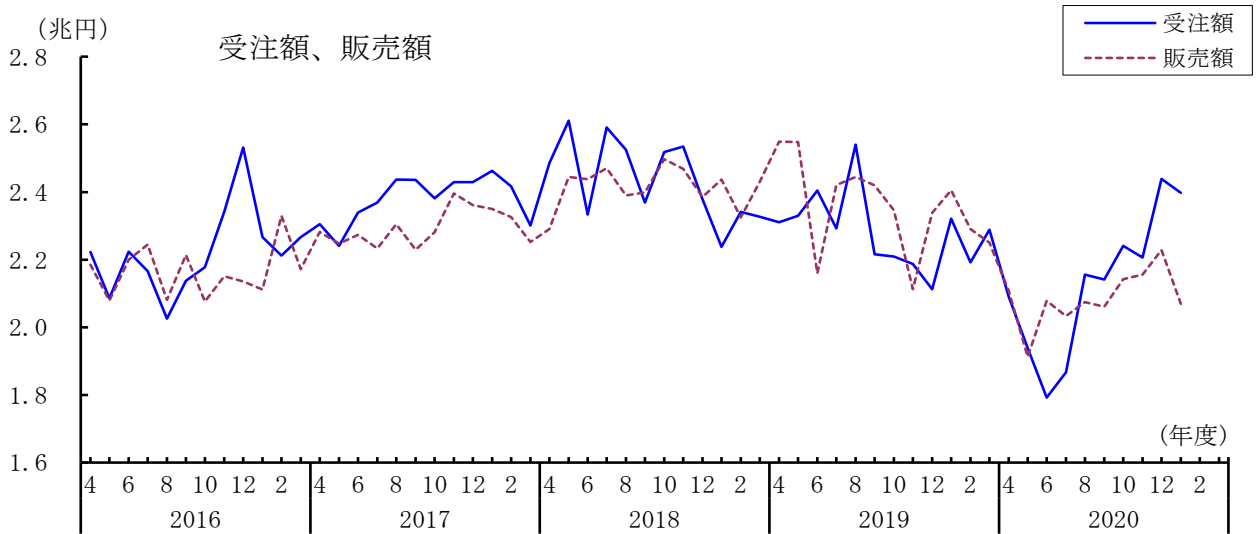
第2表 民需の業種別機械受注の伸び

(単位：%)

需要者	期・月								2021年 (令和3年) 1月
		2020年 (令和2年) 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	2020年 (令和2年) 10月	11月	12月	
I 製造業計		0.4	-12.9	3.1	11.4	7.7	-1.6	10.3	-4.2
1 食品製造業		15.1	-9.0	-1.2	-5.9	-41.0	-25.5	63.3	13.2
2 繊維工業		-8.6	-13.6	31.9	29.2	2.3	-22.9	51.7	-2.4
3 パルプ・紙・紙加工品		34.8	-8.1	-19.0	-7.2	44.9	-31.8	47.1	3.2
4 化学工業		9.6	5.5	-1.5	36.2	27.6	16.0	-30.0	-23.4
5 石油製品・石炭製品		0.8	-17.9	53.1	-14.5	-24.6	90.1	-63.7	2.5
6 窯業・土石製品		-10.8	-27.6	31.6	3.8	32.3	-13.0	-15.9	-0.9
7 鉄鋼業		-17.8	-1.1	-12.8	-4.7	33.8	-25.5	-8.7	49.6
8 非鉄金属		48.2	-16.2	-16.6	54.4	140.1	-68.5	96.3	188.3
9 金属製品		-10.9	-27.2	26.5	10.7	18.7	12.6	-19.7	6.2
10 はん用・生産用機械		-1.8	-25.0	19.5	19.8	7.1	2.5	8.5	0.1
11 業務用機械		1.1	-1.4	1.6	-5.2	-10.1	-7.7	8.8	26.1
12 電気機械		15.9	-16.6	-4.2	6.7	-13.5	18.4	15.9	-14.5
13 情報通信機械		5.3	10.7	-16.3	11.2	11.5	3.4	-7.8	23.2
14 自動車・同付属品		-6.5	-24.6	6.7	7.0	8.4	-7.1	7.4	15.7
15 造船業		-7.8	12.1	6.0	-2.8	-22.2	-6.5	79.2	18.5
16 「その他輸送用機械」		1.5	-35.0	-6.4	15.0	107.8	-14.3	50.7	-29.7
17 「その他製造業」		-8.7	-12.0	6.1	17.0	23.8	-12.9	20.2	-10.7
II 非製造業計		-7.5	-6.0	-0.2	3.8	3.1	-1.4	8.6	-8.6
18 農林漁業		4.4	6.7	-0.0	16.8	-1.5	17.7	-2.3	19.3
19 鉱業・採石業・砂利採取業		1.3	11.8	-7.1	15.8	9.2	-14.5	31.8	-28.7
20 建設業		-0.4	-2.1	1.7	12.8	0.6	16.3	6.0	-8.5
21 電力業		-19.4	24.4	-15.0	-17.5	-30.2	15.1	42.2	-38.7
22 運輸業・郵便業		-21.5	-25.8	14.9	-7.7	3.1	-28.2	8.3	-17.8
23 通信業		27.2	-8.9	7.7	21.3	-11.4	32.0	-12.2	-15.7
24 卸売業・小売業		10.6	-13.0	-6.8	30.3	41.8	-16.1	-21.7	11.5
25 金融業・保険業		-15.8	9.6	-11.6	23.5	23.9	-22.3	45.7	-15.8
26 不動産業		-9.9	-16.2	24.1	37.2	38.9	-3.5	22.5	-36.4
27 情報サービス業		-1.3	-4.2	-1.3	13.2	6.6	-0.6	14.1	-20.2
28 リース業		4.6	-0.1	-23.4	7.9	23.9	1.1	-7.9	-28.4
29 「その他非製造業」		-4.7	-7.6	6.2	7.6	5.7	-0.7	14.9	-3.0

(備考) 季節調整系列の対前期(月)増減率。

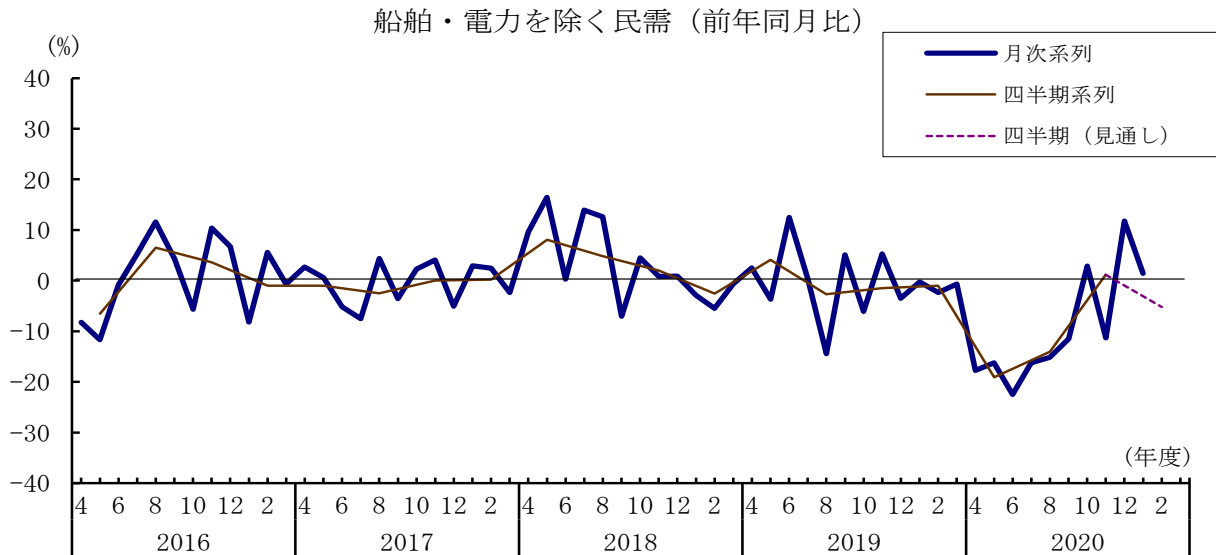
第3図 受注額、販売額、受注残高、手持月数
(総額、季節調整値)



<参考1> 需要者別の機械受注動向（原数値）

1月の受注総額は、2兆107億円の前年同月比0.8%減となった。

第4図 機械受注額の動向



（備考）「2021年1～3月（見通し）」の計数は、「見通し調査（2020年12月末時点）」による。

需要者別にみると、民需は7,664億円で前年同月比4.9%減（船舶・電力を除くと同1.5%増）、官公需は1,495億円で同40.1%減、外需は9,955億円で同15.5%増、また、代理店は993億円で同8.7%減となった。

民需のうち、製造業からの受注は、前年同月比1.1%増となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは17業種中、非鉄金属（185.8%増）、造船業（100.3%増）等の9業種で、「その他輸送用機械」（43.5%減）、窯業・土石製品（35.7%減）等の8業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注は、前年同月比8.8%減となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは12業種中、農林漁業（57.8%増）、金融業・保険業（22.5%増）等の4業種で、リース業（53.0%減）、運輸業・郵便業（33.1%減）等の8業種は減少となった。

<参考2> 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）

1. 機種別

(1) 受注額

1月の受注額を機種別に前年同月比で見ると、原動機（26.4%増）、産業機械（13.9%増）等で増加となった。反面、航空機（73.3%減）、鉄道車両（40.4%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比0.8%減となった。

また、民需からの受注額を機種別に前年同月比で見ると、原動機（41.9%

増)、産業機械(13.5%増)で増加となった。反面、船舶(93.0%減)、航空機(55.8%減)等で減少となった。この結果、合計では前年同月比4.9%減となった。

第3表 民需の機種別機械受注の伸び

(単位：%)

	2020年 (令和2年) 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	2020年 (令和2年) 10月	11月	12月	2021年 (令和3年) 1月
民需総額	-3.2	-15.5	-14.9	-4.5	-3.3	-16.7	5.8	-4.9
原動機	-13.0	32.0	-27.7	-23.9	-38.0	-46.9	32.1	41.9
重電機	12.8	-44.1	-6.1	-15.5	-13.6	0.3	-25.3	-43.8
電子・通信機械	0.8	-7.7	-11.8	5.0	-2.3	-0.5	15.3	-4.4
産業機械	-8.5	-17.4	-10.6	15.9	12.5	17.0	18.0	13.5
工作機械	-29.4	-48.8	-38.0	-19.5	-11.6	-23.0	-23.5	-14.9
鉄道車両	42.0	-50.7	-19.5	-61.0	-1.0	-88.6	-4.4	-41.5
道路車両	-2.9	-30.1	-27.9	7.0	56.6	-8.8	-0.9	-15.2
航空機	-14.5	-31.1	-27.4	37.7	-9.9	43.6	84.5	-55.8
船舶	-13.4	39.0	-11.1	-56.5	331.7	-39.0	-78.5	-93.0

(2) 販売額

1月の販売額を機種別に前年同月比で見ると、鉄道車両(11.5%増)、産業機械(3.8%増)で増加となった。反面、航空機(79.4%減)、船舶(28.2%減)等で減少となった。この結果、合計では前年同月比13.7%減となった。

(3) 受注残高

1月の受注残高を機種別に前年同月比で見ると、道路車両(7.3%増)、産業機械(4.0%増)等で増加となった。反面、工作機械(18.8%減)、航空機(17.0%減)等で減少となった。この結果、合計では前年同月比0.7%減となった。

2. 鉄構物、軸受、電線・ケーブル

(1) 鉄構物

1月の受注額は、513億円で前年同月比230.4%増、販売額は、217億円で同27.5%減、受注残高は、4,650億円で同19.0%増となった。

(2) 軸受

1月の受注額は、569億円で前年同月比16.1%増、販売額は、474億円で同5.0%減、受注残高は、874億円で同6.9%減となった。

(3) 電線・ケーブル

1月の受注額は、1,105億円で前年同月比8.2%増、販売額は、909億円で同8.8%減、受注残高は、1,545億円で同20.1%増となった。

機 械 受 注 実 績 調 査 統 計 表
目 次

[グ ラ フ]

第 1 図	主要需要者別受注額 -----	9
第 2 図	主要業種別受注額 -----	12
第 3 図	主要機種別受注額 -----	17

[計 数 表]

需要者別受注額	(季節調整系列) -----	18
機種別受注残高	手持月数 (") -----	23
需要者別受注額	(原系列) -----	24
機種別受注額	(") -----	29
機種別販売額	(") -----	33
機種別受注残高	(") -----	37
機械受注統計調査結果表	(2021年 1 月実績) -----	41

(別紙)

需要者 (業種) 分類の表章変更	-----	45
------------------	-------	----

(巻末)

季節調整の検討結果	-----	46
-----------	-------	----